

中部支部役員 真岡女子高等学校 小林 朋生  
益子芳星高等学校 岡田 圭介

平成30年度 栃高教研情報教育部会中部支部会の報告

1 期日 平成30年10月29日(月) 13:15~15:45

2 会場 栃木県立真岡女子高等学校 会議室

3 内容

- (1) 会場校校長挨拶 真岡女子高校 校長 細野 孝史
- (2) 情報教育部会挨拶 鹿沼東高校 山崎 貴史 (部会監事)
- (3) 講演会

演題:「新学習指導要領とプログラミング教育」

講師:東京書籍 編集局 総合科編集部

情報編集 編集長 野坂幸子 様

内容: 1 カリキュラムについて

2 新学習指導要領改訂における時代背景

3 プログラミング教育導入の理由

4 プログラミング言語について

(4) 情報交換

自己紹介を兼ね、各校の教科「情報」の実態や課題、プログラミング言語選定についてについて情報交換をした。内容は以下の通りである。

- ・正規「情報」の教員免許を持った教師がいない。大学入試で必要になるならなおさら専任の先生が必要ではないか。
- ・情報教育担当者が変わりやすいので、担当者によってやり方が変わってしまう。
- ・プログラミングを知らない、やったことがないので不安である。
- ・情報Iを同学年で2単位確保するのが難しい。
- ・元々個人の能力差がかなりあるので、評価の公平性が保てるか疑問。
- ・教師が面白いと思ったこと、モチベーションが生徒にも伝わる。
- ・調べ学習、まとめ学習として、情報の授業が利用されてしまう。
- ・企業では自己流のプログラミングは好まれない。プログラミングを学んだことがある先生が教えるとむしろ厄介になる恐れがある。
- ・学校HP ネット共通の新バージョンのマニュアルが無い。講習会も最近無い。
- ・おおりネット関係で、事前の周知の工夫をして欲しい。

(5) 事務連絡(支部役員選出輪番について、研究大会についてなど)